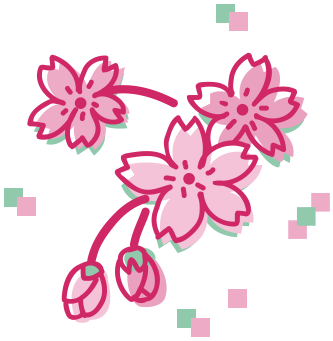
函館のまちづくりを考える
はこまち通信
第20号
平成24年3月末 発行
発行 ： 函館市地域交流まちづくりセンター
http://www.hakomachi.com

TAKE FREE　ご自由にお持ちください！

もくじ

- P 2～3　対談「地球に恋して、旅人に恋して。」
- P 4　NHK函館放送局開局80周年と「ドン」の移り変り
- P 5　シーニックバイウェイ北海道
- P 6～7　はこだてのＮＰＯ　～市民活動団体の紹介～
- P 8　ようこそ！どんぐり2号店、cafe DripDrop
- P 9～13　まちセンで開催されている講座案内
- P14～15　はこまち通信　第1号～第20号　総目次
- P 16　まちづくりセンター　ご利用案内



ラブ里-はこだて
移住者サポートデスク

函館の暮らしをサポートする
移住者サポートデスク

まちづくりセンター内にある移住者サポートデスクでは、函館市に移住された方が、地域の様々な活動に参加しながら充実した生活をおくることができるよう各種情報を発信するとともに、函館暮らしに関する相談など移住者の函館暮らしをサポートしています。また、既に函館市に移住された方や移住を応援する市民との交流を深めていただくため、サロンの開設や移住者交流会の開催などを行っています。メールマガジンをご希望の方には月１回程度の函館の情報を発信しています。

場　　所：　函館市地域交流まちづくりセンター ３階「ラブ里ーはこだて」
お問合せ：　電話 0138-22-9722　FAX0138-22-9800
時　　間：　午前 11 時～午後 8 時
Ｈ　　Ｐ：　http://www.hakomachi.com/iju2

特集 はこまち対談

Part 18

地球に恋して、旅人に恋して。

葉上 洋子（はがみ ようこ）さん

100 人 100 旅プロジェクト代表代行
写真部副部長 / 印税部部長

〈PROFILE〉

神奈川県在住　2007 年 NPO 法人 Child Doctor Japan のチャイルドドクター支援に参加。2008、2010 年同団体のケニアのクリニックにて短期ボラティアスタッフとして HIV/AIDS の無料診察やスラムなどで活動。ケニアのスラムの現状を多くの人に知ってもらいたいと 2010 年「100 人 100 旅」に参加。4 弾「地球に恋した旅人たち～空編～」にケニアの話を書いている。現在は、仕事をしながら趣味として 100 旅の写真展やイベント、6 弾の印税先の企画を行っている。

今回は、旅人による本を出版している、１００人１００旅の葉上さんに、旅人の魅力や函館のまちについてお聞きしました。

丸藤：　１００人１００旅プロジェクトって、楽しそうな名前ですね。

葉上：　旅人が１００人集まって本を書いたら楽しいんじゃないかということで始まった企画です。本をつくるだけじゃなく、印税を何かに使おうということで、カンボジアの井戸堀代など、売上は全部寄付しています。

丸藤：　１００人１００旅を始めたきっかけは？

葉上：　代表が旅人を集めて飲み会をやっていて１００人で旅本をかいたらおもしろいんじゃないかと始めたのがきっかけです。集まっているのは、学生だったり会社勤めしている人だったりで、一番年長の方は７５歳です。

丸藤：　それは凄い。

葉上：　７５歳で、行きの飛行機だけしか日本で確保しないで、自分で現地に行ってホテルを取るんです。いつも、「私は旅で忙しいから」と言ってます（笑）。羨ましいですよね、私もそんな風に言ってみたいです。

丸藤：　本には、国内も含めて世界中の様々な国や場所が載っていますね。

葉上：　著者によって旅するポイントが全然違っていて、各大陸の最南端とか最北端みたいに端っこ好きとか、ひとつの国に絞って周るとか。えっ、こんな所まで行ってるの！という方もいます。

丸藤：　旅人はどうやって集めるんですか？

葉上：　ミクシィの旅のコミュニティを通してです。私もたまたま入っている旅コミュを見てて、面白そうだなと。

丸藤：　本も旅人の皆さんでつくるんですか？

葉上：　全部自分達です。旅に行き、撮り、書き。中の特集の企画とか、表紙担当とかグループを色々作るんですよ。その他にも、著者の交流を深めるための交流企画部とか印税が出たら全額寄付なので、印税部とかもあります。基本、毎月イベントがあります。

丸藤：　旅好きの集まりって、変わった方もいそうですね。

葉上：　多いと思います（笑）。２５歳で名古屋に住んでいる人は、移動がヒッチハイクなんです。東京で飲み会があった時、「もうすぐ首都高」ってメー

ルに書いてあったから今日は自分の車で運転して来たんだと思ったら、「沢山の人たちに感謝」と続いて、やっぱりまたヒッチハイク！みたいな。

丸藤：　それで、ちゃんと間に合うんですか？

葉上：　はい（笑）。前に京都で１２時過ぎまで皆で飲んでて、明日７時から仕事だと。「えっ、名古屋までどうやって帰るの？」と聞いたら、「ヒッチハイクで」（笑）。京都タワー側は拾えるらしいです（笑）。

丸藤：　さすがですね（笑）。

葉上：　ひとり旅が多くて、休みが３日あったら出ていく感じの人が多いです。週末はほぼ皆さん空港ですね。

丸藤：　昨年の８月、函館のイカすホールで写真展を行いました。

葉上：　１００人１００旅の本は全国の本屋さんで売っているのですが、置くのは著者が住んでいるまちに限られてしまいます。函館の本屋さんにはまだ置かれていないので、写真展やればいいんじゃないかと思いました。それに、売上は全額寄付するのでお金がゼロなんです。タダでできる会場を探していたら、ここになりました。

丸藤：　函館には著者がいない？

葉上：　出身者はいるんですよ。でも、東京在住とかです。函館からも、ぜひ著者が出て欲しいですね。

丸藤：　函館の印象は？

葉上：　高校の修学旅行以来だったので、懐かしい感じでした。でもそれ以上に人のあたたかさが印象的で、なんでみんなこんなにいい人なんだろう、と思いました。

丸藤：　それは嬉しいですね。

葉上：　東京などで写真展をやってもパーッと観ていくだけですが、函館の人は話しかけてきてくれたりして、色んな方と仲良くなりました。　自宅にも招かれました（笑）。

丸藤：　東日本大震災から一年目の、３月１１日のイベント（「函館からのおくりもの」 主催：函館ハートプロジェクト）にも参加されましたね。

葉上：　ちょうどまちセンに来ていた時に、偶然ハートプロジェクトの大野さんがやってきて、紹介してもらいました。そうしたら、次の日に色んな人を連れて会場に来てくれて、夜に大野さんたちとCafe en に遊びに行って、３月１１日の話をもらいました。

丸藤：　具体的には、どのような参加になりましたか？

葉上：　私達の一年の区切りをどういう形でやるか悩んでいたのですが、話をいただいて、写真展ができる場所だけでなく、思いを伝えるトークやテーマソングを歌う場まで用意していただきました。金森で行った写真展では、地震の前の東北の景色と、震災後の景色としては、函館とコラボして朝市や金森の写真を展示しました。

丸藤：　函館に来て活動していただき、本当に嬉しいです。

葉上：　色んな団体が積極的に活動していますよね。できたらこれをずっと続けていってもらいたいです。それから、函館の本屋さんにも１００人１００旅の本が並んで欲しいですね。

丸藤：　まちづくりセンターでも、ぜひ写真展を行ってください。

葉上：　ぜひ！。今回、函館に１５人で来ていて、打ち上げやっていた時に、本当に楽しすぎちゃって、一人ずつ一斉にミクシィ上で「函館最高！」と流しました。そしたら、これなかった人たちが、「悔しい、次は行きたい！」って。次はもっと多くのメンバーと遊びにきます（笑）。

＜聞き手＞ 函館市地域交流まちづくりセンター
センター長　　**丸藤 競**

ＮＨＫ函館放送局開局８０周年と「ドン」の移り変り

中尾 仁彦 さん　箱館歴史散歩の会主宰、第１回 函館検定 上級試験合格、ＮＨＫラジオ「どどんと道南ラジオ」に月１回レギュラー出演中。

現在はテレビやラジオで時報があたりまえに発せられています。テレビは画面上部の時刻表示、またラジオは昔ながらの「ポーン」の形が主流です。

それでは昔はどのようにして時刻を知らせていたのでしょうか。幕末までの各地の城下町では城で太鼓を叩き時を知らせていました。函館も同様で、当時元町にあった箱館奉行所が安政３（１８５６）年に「時の太鼓」を開始したのが最初の時報といわれています。これとは別に、元治元（１８６４）年から数年間五稜郭に移った箱館奉行所（平成２２年に復元された）では、役人の勤務開始の午前１０時と終了の午後３時を太鼓で知らせましたが、当時の役人の勤務時間は大変短かったようです。

太鼓に変わり明治１５年７月から、高砂町（現在の函館市総合福祉センター付近）にあった函館測候所にて旗を用い正午を知らせるようになります。これを「報午旗（ほうごき）」と言います。約３メートル四方の赤白の旗を毎日正午より５分前に竿の中間に上げ、さらに２分前には竿頭に上げ正午になると瞬時に引き下ろします。函館市街地のみならず遠望のおよぶ近隣地域でもこの報午旗を利用して時計の調整をしました。しばらくは「時の太鼓」と「報午旗」が併用されましたが「時の太鼓」は、明治２１年に中止されます。

その後太鼓に代わり大砲の空砲射撃により時刻を知らせるのが全国的に主流となります。明治３５年に函館測候所の旗による正午の時報に代り、この旗の引き下げに合わせて、望遠鏡で見た元町配水場内において正午の午砲（通称・ドン以下同表現）を開始します。このドンを撃つのは配水場の職員が兼ねました。しかし霧が深い時は旗の遠望がむずかしくまた市街地の拡大に伴い音の伝わり方にも差が出始めたため旗の使用は中止されます。そのため明治４２年、函館区はより大型の大砲（５斤砲）を東京兵器廠から購入し空砲射撃を開始します。その後函館は北洋漁業や北海道の玄関口として発展を続け、市街地は拡大の一方でしたので、当然郊外では空砲が聞こえづらくなります。

そのおり、昭和７年２月６日午前６時３０分、汐見町（現在のロープウエイ駐車場）から「ＪＯＶＫこちらは函館放送局です」の開局第一声が響きました。昭和３年の札幌放送局に次いで全道２番目、全国１９番目の開局でした。当時の新聞には、「近代都市の誇り」、「ラジオ黄金時代」と誇らしげに掲載されたほどです。今年は開局８０周年を迎えました。開局によりラジオの時報で時刻は知りやすくなったとの理由で、昭和７年４月１日には市民に正午を告げてきたドンが廃止されます。１年の内に市内のラジオ加入者は 6500、郡部で 1100 という規模にまで拡がりましたが、この頃、市内全戸数は４万戸程であったことから、１０軒に 1、2 軒程度の普及でした。ドンの廃止により市役所の経費は年額 500 円の節減になりましたが、ラジオの普及は前述の程度だったため、ドン廃止に対する市民の不満は大きくなる一方でした。市民が皆ラジオを持てるほどの金持ちだと思っているのか、市長の自動車送迎をやめて経費を節減し、ドンを復活せよなどの声がさかんとなる有様です。

そのため市役所は翌８年１月１日からより遠方まで届くサイレンを銀座通りの市民館屋上に据え付け、正午に鳴らされます。第２次大戦の開戦近くまで続きましたが戦争中は中断されます。サイレンは昭和２５年３月１日に再開、東雲町の函館市消防本部で鳴らされ、平成初期まで続きました。ラジオやその後のテレビの普及により正午を知らせるよりは、むしろ緊急時に鳴らすサイレンのテストの役割もあったと聞いております。

最近は週２日制の普及により若い人たちには「半ドン」は死後のようです。オランダ語で休日を意味するドンタクが長崎出島より入り、土曜日は勤務や授業が半分で終わることから半分のドンタクが短縮されたのが半ドンの語源です。一方、函館では正午のドンとともに半日で仕事が終わることからきているとの説が多く語られます。昼になれば仕事が終わり後は楽しい週末と思えば、午前中の仕事など一瞬で終わってしまったような感覚でした。半ドンを体験していた世代の皆さん、どうでしたか？

旧函館放送局（昭和１１年撮影）
真ん中の建物は、東本願寺別院

ご案内

中尾仁彦さんの「箱館はじめて物語」改訂版（1000 円）をまちセン内 cafe Drip Drop および大型書店で絶賛好評発売中です。電子書籍版は「新函館ライブラリー」**http://hakodate.wook.jp** で購入できます。

シーニックバイウェイ北海道
函館・大沼・噴火湾ルート

今回は、今年の2月に実施したシーニックdeナイト2012の結果報告をいたします。シーニックdeナイトは、函館市や大沼などの国道や道道沿線を中心に、手作りのワックスキャンドルを設置・点灯するイベントで、平成18年度からルートの連携した取組としてスタートしました。ワックスキャンドルによるほのかな灯りは、ドライバーや地域住民、観光客の心を温かくし安らぎを与えてくれます。

【日　時】　平成24年2月1日（水）～18日（土）
【場　所】　函館市地域交流まちづくりセンター周辺、南茅部公民館周辺、大沼国定公園内、噴火湾パノラマパーク周辺、函館駅正面通路、福島町横綱記念館、函館新道（実施順）
※なお、富岡1丁目児童公園付近は、注意報発令により中止しました。

▲函館市地域交流まちづくりセンター周辺

▲南茅部公民館周辺

▲大沼国定公園内

▲噴火湾パノラマパーク周辺

▲函館駅正面通路

▲福島町横綱記念館

▲函館新道

▲スノーシュー体験in大沼

▲アンギン編体験in函館市縄文文化交流センター

また、カーボンオフセット型シーニックdeナイト2012鑑賞バスツアーも実施しました。
【日　時】　平成24年2月11日（祝）～12日（日）　1泊2日
【参加者】　17名
【行　程】　○11日：出発→大沼（スノーシュー体験）→噴火湾パノラマパーク（シーニックdeナイト2012鑑賞）→鹿部ロイヤルホテル（宿泊）
○12日：鹿部ロイヤルホテル→しかべ間歌泉公園（見学）→函館市縄文文化交流センター（見学・体験）→到着

はこだてのＮＰＯ

函館には現在約400以上の市民活動団体があり、実にさまざまな活動が行われています。その中からピックアップして毎号ご紹介しています。

01 絵と音の会

代　　表 ： こがめ いづる
連 絡 先 ： 080-5589-1569

活動の目的：

子どもたちや親子が自然にふれあいながら、美術や音楽に親しみ、アート活動をたのしむ機会をつくっています。

活動の内容：

2011. 6 「海の拾いもので巨大紙芝居と楽器作り」（親子・小学生対象）大森浜で採集した貝や流木を使って90cm×180cmの絵5枚と楽器を製作して演奏発表会を行った

2012. 1 ウクライナの楽器バンドゥーラ演奏会
わたしの絵本「てぶくろ」作り

2012. 6 海や山の拾いもので家を作ろう！！（計画）

会 員 数 ： 4名　　加入条件： なし

「海の拾いもので巨大紙芝居と楽器作り」

「ウクライナの楽器バンドゥーラを聴きながら、私の絵本『てぶくろ』を作ろう」

02 日本ユーラシア協会函館地方支部

代 表 者 ： 桜井 欣也
連 絡 先 ： 函館市本町3番4号　電話 0138-32-2544

活動の目的：

ロシア極東地域と地理的に近接している当地にあって、接する機会の多いロシア人との交流を促進する橋渡し役を果たしています。こうした活動を通し、日ロ両国民の相互理解、友好促進、文化の発展に寄与しさらに、生活上困難を抱えるサハリン出身永住帰国市民の精神的支援も行っています。

活動の内容：

年間を通したロシア語講座
5月　外国人を招いての花見
7月　支部総会、交流会
8月　サハリン等を中心としたロシアへの友好親善の旅（在留日本人視覚障害者への日本語点字図書寄贈、障害者への生活用具寄贈と交流・現地の方との文化交流等）
10月　本協会北海道連合会との共催による文化行事（通常ロシア人芸術家による音楽会や民族舞踊披露）

随時来函ロシア人との交流・通訳、ロシア料理教室

会 員 数 ：50人
加入条件：なし

03 函館こども劇場

代 表 者 ： 運営委員長　和泉佳代子
連 絡 先 ： 函館市高盛町 22-7
TEL 0138-55-3782

活動の目的：

子どものための優れた舞台の鑑賞（例会活動）と、親子で地域の仲間と創りあう自主活動を通して、子ども達に豊かな心と喜びを届け、自立と成長を願い、大人がつながり力を寄せあい、親も子も育ちあうことを目的としています。

主な活動の内容：

例会活動は、子どもは 4 歳以上中・高校生も対象として、その年齢にあった舞台を届けようと幼児例会、小学 1 年生以上例会、低学年例会、高学年例会とわけ、1 人の会員が 1 年間に 4 回観られるようにしています。

自主活動は、市内と北斗市、七飯町をなるべく近い地域にわけて、子どもの身近なところで集まりをもち、話し合って、一緒に遊んだり、お花見、キャンプ、ハイキング、クリスマス会 etc…と工夫して活動を創っています。

会員数：　483 人（平成 23 年 5 月）

函館こども劇場は、会費制です。入会金 200 円
月会費　1000 円　（4 歳以上のこども・おとな）
＊3 歳以下の子どもは、親が入会することで活動に参加できます。

例会の様子

04 函館市ボランティアチーム はこぼー

代 表 者 ： 堀 慎司
事 務 局 ： 丹下坂 愛実
E-mail　hakobo2011@yahoo.co.jp
TEL 0138-53-2483
団 体 HP： http://hakobo2011.com

被災者へ絵本プロジェクトの絵本を橋渡し

活動の目的：

函館市内において、各種ボランティア活動を展開し、明るい魅力的なまちづくりに貢献すると共に、社会公共の福祉の増進に資することを目的としています。

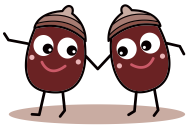
活動の内容、活動状況：

（活動実績）
東日本大震災以降実施された各種災害支援活動および　復興支援イベント等に参加
（事業計画）
まちづくりの推進を図る活動、災害救援活動、その他の活動
＊当面は東日本大震災の復興支援活動に重点を置くものとする。

会 員 数 ：　30 名
加入条件：　なし

函館ベイエリアの津波被害の清掃、復旧のお手伝い

ようこそ！どんぐり２号店



３月は、ひなまつりに向けて切り絵のおひな様を飾ったり、きれいな色の帯を貼ったりして、どんぐり・２をいつもより少し華やかに飾りつけました。現在は、一点物のさき織りや、帯で出来たショルダーバッグ、新しいクッキーも続々入荷しております。どんぐり・２では、これからも季節に合わせたきれいな絵や作品など、目で楽しめるものを飾りつけしていきたいと思いますので、ぜひお越しください。

お土産に人気！ 土偶ッキー 630 円 ハイカラ號サブレ 500 円

福祉の店「どんぐり２号店」（まちづくりセンター内）

営業時間／ 10：00 ～ 16：00　　定休日／ 毎週火曜日

製品は、函館市総合福祉センター１階、函館市役所地下売店でも販売しています。

cafe Drip Drop

cafe Drip Drop 米田尚子

長い冬でした。雪もたくさん降りました。
じっと我慢していた花や樹の芽たち、たくさんふくらんでくれるといいな。
人間たちも元気に深呼吸―。

［２周年］

早いもので、DripDrop は４月４日で２周年です。１周年の時は、お客さまへの日頃の感謝を東日本大震災の義援金に代えさせて頂きました。今年も被災地の応援は微力ながら続けさせていただきますが、お客さまへのお礼も何かの形にしたいと思います。お楽しみにお待ちくださいませ。

［新メニュー］

大沼・軍川のあかり農場は、新得の共働学舎で農業を学んだ山田さん夫妻が運営する養豚農場。近隣農家の規格外野菜などで自家配合飼料を作り、ゆっくりしたペースで子豚を育てています。カフェでは月２回豚肉を届けてもらい、煮豚や塩豚などをメニューに載せています。しっかりしたうまみのあかりポーク、ぜひ味わってくださいね。

［温泉発酵パン］

湯の川温泉の cafe まるせん。温泉旅館内にあるカフェです。温泉熱で発酵させたパンが人気。このパンを春から DripDrop で販売させていただくことになりました。週１回の販売ですが、販売日が決まりましたら Blog でお知らせいたします。どうぞお楽しみに♪

カフェOPEN ： 10 ：00―18 ：00　　定休日 ： 水曜日

ホームページ ： http://handpick.cafe.coocan.jp/

受講生募集中！！

まちセンで開催されている講座案内

興味のある講座がありましたら、 各連絡先にお問い合わせください。
「まちづくりセンターの講座案内を見ました！」と言っていただくとスムーズかもしれません。

ご注意：これらの講座は、まちづくりセンター主催ではありません。参加費等については、連絡先にお問い合わせください。まちセンが連絡先の場合は、講師から折返しご連絡いたします。

講座名	講師	講座内容	PR文	連絡先
幼児・小学 中学生英語クラス 毎週土曜日 午後 3 時～午後 4 時	森田実 母子家庭教育支援協議会	4,5,6 才児 小学生 中学生	楽しみながら学ぶネイティブのヒアリングに慣れさせる	森田実 090-2767-5586
数学　受験特別クラス 毎週土曜日 午後 6 時～午後 7 時	松山和雄 母子家庭教育支援協議会	大学・高校・私立中学受験を対象にした数学の受験特別クラスです。	ご要望の多い受験対策クラスを開設しています。	
成人向け英会話 毎週金曜日 午後 2 時～、午後 3 時～ 毎週月曜日 午後 7 時～午後 8 時 毎週土曜日 午後 1 時～ 2 時	Ms.Hagiwara Mr.Jean Mr.NAKADA Ms.Lauer Mr.Ramin	成人の方への基礎の基礎英会話	講師歴 20 年のベテランが指導するクラスと教育大留学生による楽しい英会話	
初めてのハングル 毎週火曜日 午後 3 時 30 分～ 午後 4 時 40 分	チョン・スギ 北海道通訳案内士 道新文化センター講師、通訳･翻訳 ハングル検定指導	文字から、ゆっくり丁寧に習います。	韓国語は日本人にとって一番習得しやすい外国語。文化、歴史も学び、人生を豊かにさせます。	チョン スギ 090-5958-5753
ハングル講座　中級Ⅰ 毎週木曜日 午後 6 時 30 分～午後 8 時 毎週金曜日 午後 3 時～ 4 時 10 分		会話、物語のヒアリングも行います。 通年で開催。	要面談、随時申込可 ＊グループ・個人レッスンも可能です。気軽にご相談ください。	
ハングル講座　中級Ⅱ 毎週金曜日 午後 6 時 30 分～午後 8 時		会話、単文も作ります。通年で開催。		
ハングル講座　上級 毎週火曜日 午後 6 時 30 分～ 午後 8 時		新聞、解説文、文学作品等の読解、ワンランクアップの会話を勉強します。通年で開催。		

講座名	講師	講座内容	PR 文	連絡先
リープ英会話 毎週日曜日 午前 10 時	ドナルド・ミラー	教材をもとにした、小人数による英会話レベル中級です。	老若男女を問わず、和気アイアイとしたスローペースなクラスです。いつでも見学できます。お気軽にどうぞ。	まちづくりセンター 電話 22-9700
ECCジュニア 児童英語・英会話	ECCジュニア 十字街教室 吉田苑子			吉田苑子 電話 27-0367
＊幼児PT クラス 毎週土曜日 午前 11時～ 12時		ママと一緒に英語で知育！（40 分）	心と知能を育み学ぶ力の土台を作ります。	
＊幼児PB入門クラス （4･5 歳） 毎週土曜日　午後 2 時～午後 3 時		五感をフルにつかって楽しく英語の世界に （40 分）	幼児特有の集中力、好奇心で、 楽しさいっぱいのレッスン！	
＊小学生基礎PFクラス(1 ～ 3 年生) 毎週水曜日　午後 3 時 30 分～午後 4 時 30分		聞く、 話す、 読む、書く語学の4技能の土台を楽しみながら作っていきます。（60 分）	好奇心いっぱいのこの年代に、英語のシャワーをたくさん浴びて、 豊かな語感を形成します。	
＊小学生初級PEクラス （4 年生～ 6 年生） 毎週土曜日　午後 4 時～午後 5 時		小学生高学年では上記語学4技能に加えて発音と綴りのルール、 フォニックスを学びます。（60 分）	世界一周ストーリーで楽しく学ぶうちに自然に中学 1 年生で習う文型が身に付きます。	
＊中学英語強化コース （中 1 生） 毎週水曜日　午後 5 時～午後 6 時 30 分		教科書の予習復習を徹底し、 リスニング力も養います。（90 分）	中学での中間期末テストや、 やがて高校入試にゆとりを持って向かえます。	
＊中学スーパー英語コース（中2生） 毎週水曜日　午後 6 時 30 分～午後 8 時		大量の英語・英文を徹底した ECC メソッドによるトレーニング。	・将来留学したい ・英検にチャレンジ！ ・入試では余裕で･･･ ・進度の速い私立中学生に	
函館の文学と音楽の会 百人一首部会 第 3 木曜日 午前10 時 30分～12 時 30分	橋本末次郎	作者と歌の背景を詳しくお教えします。	百人一首を楽しみましょう。	大橋礼子 電話 26-5806 藤野小枝子
函館の文学と音楽の会 万葉集の会 第 2 木曜日 午前10 時30分～12 時30分	橋本末次郎	万葉集の歌と作者ならびに歌の背景を学びます。	万葉集と万葉の歌と古代の歴史にふれてみませんか。	名越美恵子 090-7652-3191
橋本祐子きつけ教室 第 3 土曜日 午前 10 時～午後 12 時	橋本祐子 国家認定着つけ技能士 1 級	ゆかた、 普段着、正装、振袖まで自装、他装。 道具は一切使用しません。 初級と上級まで免許取得できます。	曜日は相談に応じます。	橋本祐子 電話 22-6379

講座名	講師	講座内容	PR 文	連絡先
まちづくり千絵画教室 日曜日 午前 9 時～午前 11 時	ヒロ	子供から大人まで参加できます。 水彩画、パステル、アクリル画、キャラクター、イラスト、まんが、 子供の工作、似顔絵など様々な絵を指導しています。 基本的に生徒さんの学びたいことを指導して、生徒さん自身の表現を大切にしています。	子供も大人も絵画の公募展などで賞状をもらっています。 講師は児童心理学を勉強しています。 子供の自由な表現や発想をひきだして心が豊かになるように指導しています。	参加希望の方は、直接会場にお越しください。 まちづくりセンター 電話 22-9700
ちびっことママのアルバム作り 第 2 土曜日 第 3 月曜日（変更有） 午前 10 時 30 分～ 午前 11 時 30 分	こがめ いづる 手作り絵本工房ののか主宰	子どもと一緒にお絵描きしたり、 写真を切り貼りして半年～1 年かけて本を作っています。	日々成長するこどもの様子を一冊の本にしませんか。 みんなでわいわいたのしい時間をすごしましょう。	こがめいづる 080-5589-1569
収納と重曹のお掃除講座 第 2・3 金曜日 午前 10 時～午後 12 時	丸山信子 収納アドバイザー	個人のライフスタイルに合う収納法、 生活用品が捨てられずに貯まってしまう悩みの解消法、 今まで落ちなかった汚れを重曹で落とす方法を学びます。	収納が苦手で悩んでいる方の為に、 解りやすい実践方法や映像を取り入れています。	丸山信子 090-4870-1334
万年筆クレヨンアート教室 開催日時等は、 連絡先へお問い合せください。	山田聖一	小時間散策の後、 感じたものを楽しく描くこともあります。	デジタル時代の真ん中でストレスの多い毎日の生活に四季を感じ潤いとゆとりをもって万年筆とクレヨンで描く楽しさをご一緒に学びませんか。	山田聖一 090-3779-2441
コーチング講座 月 1 回　第 3 土曜日 午前 10 時 30 分～ 12 時 30 分	飯田正男 コーチステーション函館	会社・病院・学校など職場や家庭で実践できるコミュニケーション力の学習 コーチングを基礎から学ぶワークショップ形式の講座	・コーチングについて理解し、 基本スキルを学び、 コミュニケーション力が向上します。 ・基本スキル「傾聴」「質問」「承認」することを実習し、 行動できるようになります。 ・毎月電話によるフォローアップコースで、学習成果を積み重ねます。	飯田正男 0138-53-0574
手づくりボランティア工房「エンジョい」 毎週水曜日 午後 1 時～ 4 時	各メンバー	家庭で眠っている素材を活用し、 メンバーで知恵を出しあって作品を作っています。	どなたでも参加出来ます。 やすらぎのお針仕事場になっています。	江口峰子 0138-26-3452
ポルトガル刺繍サークル≪hana≫ 第1・3 金曜日 午前 10 時～ 12 時	葛西美江子	毛糸を使った刺繍です。	年齢に関係なく楽しめる手芸です。 いつでも見学出来ますし、体験だけでも O.K です。	葛西美江子 01374-2-1951

講座名	講師	講座内容	PR 文	連絡先
NYスタイルフラワーデザイン 月 1 回　木曜日（変更有） 午前 10 時～午後 1 時	中川ちはる 青田雅恵 塚本美花	毎回、生花やプリザーブドフラワーを使ったフラワーデザインを学ぶクラスと、プリザーブドフラワーのクラスのどちらかを選べます。	入会・月謝はなし。次回参加を予約していただく方法です。	中川ちはる 070-5614-9270
フラワーサークルミントフラワーアレンジメントコース 毎月曜日（変更有） 午前 10 時 30 分～ 午後 2 時 30 分	澤裕子 ヨーロピアンフラワーデザイン連盟プリザーブドフラワー 1 級ライセンスインストラクター	テキストを使って、四季折々のアレンジを楽しむ事ができます。	自由参加制ですので、ご都合に合わせての参加ができます。体験レッスンもあり、資格取得も可能です。入会後は参加時のみの実費だけです。どうぞお気軽にお問い合わせください。	まちづくりセンター 電話 22-9700
フラワーサークルミントプリザーブドコース 月 1 回　第 2 月曜日（変更有） 午前 10 時 30 分～ 午後 2 時 30 分		半永久的に長持ちするプリザーブドフラワーを使ったアレンジを行います。		
プリザーブドフラワーレッスン 水曜日 （月 1,2 回不定期開講） 午後 1 時 30 分～ 午後 3 時 30 分	川嶋ゆかり 花と香りのアトリエアント主宰 日本プリザーブドアロマフラワー協会認定講師 日本ハーバルカルチャーソサエティ認定講師	ギフト＆インテリア（趣味） ディプロマコース（資格） 1 日講座（フリー作品） 他	花と香をテーマに、趣味のコース（1 回ごとのお申込み）協会の資格コースなど多彩なレッスンをご用意しています。お気軽にお問い合わせくださいませ。	まちづくりセンター 電話 22-9700
ハーブ＆アロマ講座 月 1,2 回不定期開講 午後 1 時～ 午後 3 時 30 分　他		ハーブ＆アロマを取り入れ、ナチュラルで豊かな暮らしのヒントを学ぶコース。	毎回、実習品とご自宅でも作れるように材料をお持ち帰りいただきます。	
ヨーロピアンスタイルフラワーアレンジメント講座 火曜日　午後 4 時～ 水曜日　午前 10 時 30 分～ （月 1 回）	塚越早希子 公益法人日本フラワーアレンジメント協会本部講師、花阿彌ブレーメンシューレプロフェッショナルインストラクター、チャート式フラワーデザインアレンジメント協会認定講師、一般社団法人全国プリザーブドフラワー協議会会員	・チャート式フラワーレッスン ・フレッシュフラワーコース ・プリザーブドフラワーコース コース修了後は、講師登録もできます。	フレッシュフラワー、プリザーブドフラワーともヨーロピアンスタイルで楽しくレッスン。チャート式レッスンでは、24 回毎回テーマ毎にオリジナルテキストを使用するので、基本がしっかり身につきます。	まちづくりセンター 電話 22-9700
水墨画教室 第 2･4 木曜日 （月 2 回） 午前 10 時～ 12 時	山岸桂華 （日本書道学士院評議員、読売書法展　幹事）	最初は手本を模写します。その他に自分の好きな題材を自由に描くようにします。 （年 1 回　作品展あり）	昔の名画等を参考にしながら、現代風に自由に自分の表現を学んで行けたらいいと思います。	山岸桂華 電話 57-1217

講座名	講師	講座内容	PR 文	連絡先
矢車会書道塾 土曜日 午前 10 時～ 12 時 月 3 回	中井穆風 矢車会書道塾主宰	小学 1 年生から高校生・大人対象に毛筆で古典の臨書から創作・写経・実用書道・篆刻も指導します。	競書（書の研究） 昇級・昇段可 初歩の篆刻講座開設	まちづくりセンター 電話 22-9700
絵てがみサークル「赤いポスト」 第 1･3 木曜日 午後 1 時～午後 3 時 （会場の都合により日時が変わることも有ります）	和田洋子 日本絵手紙協会公認講師	筆、鉛筆、クレヨン、ペンなど使いますが、ほとんど筆を使います。筆を使って「ヘタでいい、ヘタでいい」をモットーに自分の心を相手に届ける、絵のついた手紙を書く、これが絵手紙です。	日本絵手紙協会公認講師資格者が在中。また希望者が有れば講師の資格をとることができます。教室のある時は体験講座をうけることができます。	和田　洋子 電話 53-1876 いつでも入会できます。
墨友会書道教室 土曜日（月 3 回） 午後 2 時～午後 4 時	青穂 墨友会主宰	4歳から一般の方対象で、主に毛筆で古典臨書から創作までを学びます。暮らしに役立てま書のお教室もあります。	幼稚園から中学生までは毛筆の他に硬筆も行います。（両方とも昇段、昇級可）一般の方は目的によって選んで頂く事ができます。	まちづくりセンター 電話 22-9700
セルフリンパマッサージ リンパ体操 第 1･4 水曜日 午後 1 時～午後 2 時 リンパ無料体験実施中 毎月第 4 水曜日 午前 10 時 30 分～ 12 時 **セルフリンパマッサージ フェイスリンパ＆経皮毒** 第 1･3 水曜日 午前 10 時 30 分～午後 12 時 （全 6 回）	福田康子 NPO法人リンパ健康学普及協会認定 リンパトレーナー、日本成人病予防協会　健康管理士（一般指導員）、道新文化センター・シダックス　カルチャー教室　講師	体の不快な症状をそのままにしておくと病気の要因になることがあります。体を緩めて体内のゴミ、老廃物を排出し、体の隅々に血液の循環を促します。体温の免疫を上げ、健康的な身体づくりを目指します。 リンパの流れを利用した正しいマッサージ法や生活用品の影響による軽皮毒についての知識を学びむくみやシワの少ない小顔をめざします。	自分の体の状態を確認し、体調に合わせて解していきます。蓄積させないように日常生活に取り入れ日ごろのケアに役立てましょう。 経皮毒コースもあります。肌本来の機能を取り戻し、毎日のケアに役立てましょう！	福田康子 080-6099-4691
田中式健康体操 木曜日 午後 2 時～午後 3 時	木戸口静子 田中式健康体操認定	有酸素運動、筋肉増強運動、調整運動、複式呼吸運動など 5 つの群で構成されています。	週 1 回仲間と共に体操しませんか。終生立って歩ける生活が出来ることを基本に考案された体操です。	木戸口静子 電話 83-2118
日本実践空手道 眞宮会館 月･水･金曜日 幼年･少年部 午後 7 時～ 8 時 一般の部 8 時～ 8 時 30 分 合同稽古 日曜　午後 3 時半～ 4 時半 一般の部 4 時 30 分～ 5 時	宮本真人 師範	直接打撃制の空手です。直接打撃することにより、人を叩く痛み、叩かれる痛みを知り、お互いを尊重すること、優しさ、礼儀を身につけます。	週に 1 回程の稽古の他に、日曜日の幼年部・少年部の合同稽古では、返事の「押忍（おす）」についてやケンカと空手の違いなどを学ぶ座学も行っています。	宮本真人 090-6216-5105
エアロ＆ストレッチ 火曜日 午後 1 時～ 2 時	杉本梓 健康実践指導者	音楽に合わせてエアロビクスとコアリズムで体を暖めてからストレッチで体を伸ばします。初めての方でも無理なく参加できます。	体が硬いかた、はじめての方でも無理なく参加いただけます。	ストレッチサークルレラ 杉本梓 電話 26-5655 （FAX 兼）

はこまち通信

第１号（2007.7）～第 20 号（2012.3） 総目次

2007（平成 19）年度

はこまち通信　第１号

2007 年 7 月発行

〔連載・はこまちプレイバック〕 1「想い出ありすぎ連載決定」の巻／写真「大正 12 年（１９２３年）丸井前より末広町を望む」／〔特集・はこまち対談〕「市長と語る函館のまちづくり」〔連載・NPO はこだて街なかプロジェクト〕〔連載・シーニックバイウェイ北海道　函館・大沼・噴火湾ルート〕〔新載・NPO 最前線〕小林董信〔連載・書籍案内〕『NPO 法人申請書類記入マニュアル』／『NPO の参考書』〔連載・NPO レポート〕函館日本語教育研究会／函館マン管ネット／工房・虹と夢／函館・青少年の夢と未来を育む会／函館埋蔵文化財事業団／NPO 法人スプリングボドユニティ 21〔連載・市民活動記録〕春のバル街／オンパク写真展／「ピンホールカメラ塾」運営委員会だより　″まちづくりセンター″の明日　若山直〔連載・はこまち的〕海水浴〔連載・cafe オタジィラ〕〔連載・センター長のつぶやき〕／ NPO まつり参加団体募集／まちづくりセンターに寄せられたご意見・ご感想

はこまち通信　第２号

2007 年 9 月発行

〔プレイバック〕2「災害でも規則は破らなかった」の巻／写真「旧丸井今井百貨店函館店１階売場」〔特集・対談〕「映像作家と語る函館のまちづくり」かわなかのぶひろさん（映像作家）第３回世界で一冊だけの本展　絵本作りワークショップのお知らせ〔NPO 最前線〕公益法人の今後と、NPO の関係〔NPO レポート〕NPO 法人函館ウィメンズネット／ NPO 法人どうなん「学び」サポートセンター／ NPO 法人河川環境基金（REF）函館支部／函とべ会「飛んでけ！車いすの会」／函館海藻アート協会／箱館木造和舟保存研究会〔新連載・市民活動の産声〕工藤玖美子さん（ロシア領事館保存・活用の会）〔はこまち的〕森林浴〔日記〕第１回路面電車まつり／じろじろ大学／イルミナシオン映画祭サマースクール／平和のつどいアートワークショップ〔シーニック〕〔オタジィラ〕〔つぶやき〕

はこまち通信　第３号

2007 年 12 月発行

〔プレイバック〕 3「エスカレーターガールがいたんですか！？」の巻／写真「大階段及びエレベーター」／〔特集・対談〕「環境派建築家と語る函館のまちづくり」環境派建築家・辻垣正彦さん〔ＮＰＯ最前線〕2008 年度に向けてのＮＰＯをとりまく情勢〔ＮＰＯレポート〕アースデイ実行委員会／函館絵本の会銀のふね／健康生活ネットワーク／脳外傷友の会コロポックル道南支部／函館手工芸の会／函館メサイア教育コンサート実行委員会〔産声〕茂呂信哉さん（エコホスピタリティはこだて）〔はこまち的〕Be Happy〔日記〕第３回 NPO まつり／函館観光ポスター展／第３回世界に一冊だけの本展／じろじろ大学特別講座／みんなの街角地図プロジェクト〔シーニック〕〔オタジィラ〕〔つぶやき〕

はこまち通信　第４号

2008 年 3 月発行

〔プレイバック〕 4「丸井のお客様あれこれ」の巻／写真「三階特別売り場」／〔特集・はこまち談義〕「道内の NPO が集結」白鳥健志さん・谷井貞夫さん・水澤雅貴さん・川北秀人さん・東田秀美さん・小林友幸さん・森田裕子さん　市民活動スキルアップ講座〔シーニック〕2008 シーニック de ナイト報告〔NPO レポート〕NPO 法人あいでっくすメタネットワーク／えぞ共和国／ CAP みなみ北海道／生活協同組合北海道高齢協道南センター「茜」／ NPO 法人南北海道自然エネルギープロジェクト／ NPO 法人みんなのさぽーたー わっとな〔NPO 最前線〕助成金情報〔はこまち的〕トラムの楽しみ方〔まちセン日記〕写真展「岡村昭彦の軌跡十字街からベトナムへ。ホスピスへ」／車いすの整備体験／シーニック de ナイト２００８／函館市公民館写真展／市民活動講座「NPO ができること」〔オタジィラ〕〔つぶやき〕

2008（平成 20）年度

はこまち通信　第５号

2008 年 6 月発行

〔プレイバック〕特別編「エレベーターガール誕生の時代考察」の巻／写真「新聞記事『婦人の新職業エレベーターガール』」「ごぞんじですか由来を、他都市と違う函館の特異な慣習」中尾仁彦〔シーニック〕洞爺湖サミット記念の森〔まちセンで開催されている講座案内〕〔函館のＮＰＯ〕NPO 法人おはよう共同作業所／亀田川をきれいにする市民の会／はこだて外国人居留地研究会／ NPO 法人市民創作「はこだて野外劇」の会／ NPO はこだて市子連／函館のチンチン電車を走らせよう会「開港 150 周年記念事業について」〔つぶやき〕

はこまち通信　第６号

2008 年 11 月発行

〔プレイバック〕特別編「昭和９年函館大火による階段・エレベーター改造の裏舞台」の巻／写真「階段及エレベーター（昭和５年改装写真）」／〔特集　はこまち対談〕「はこだて国際民俗芸術祭と函館のまちづくり」イアン・フランク〔連載・開明都市函館の遺産〕「重要文化財」〕中尾仁彦・木造大日如来像／太刀川住宅店舗〔函館のＮＰＯ〕函館中途失聴者・難聴者協会／ NPO 法人ふれあい／ NPO 法人北海道坂本龍馬記念館実行委員会／北海道ユニバーサル上映映画祭／ NPO 法人民族歌舞団こぶし座／育児サークルめりーず「開港 150 周年記念事業について」「連載・はこだて「まちのチカラ」サポートデスク」始めよう！「自分らしい生き方」さがし　NPO 法人 NPO サポートはこだて池田晴男〔シーニック〕〔オタジィラ〕〔つぶやき〕

はこまち通信　第７号

2008 年 12 月発行

〔プレイバック〕特別編「エレベーターの沿革」の巻〔特集・はこまち対談〕「函館での学生生活４年間」嶋村幸子さん〔開明都市函館〕旧函館区公会堂／函館ハリストス正教会復活聖堂〔函館のＮＰＯ〕NPO 法人ケアマネージャーネットワーク函館／子どもの権利ネットワーク南北海道／ NPO 法人ソーシャルエージェンシー協議会／ヨットスポーツ少年団函館ジュニアセーリング倶楽部／ NPO 法人北海道マンション管理士会／函館の歴史的風土を守る会「開港 150 周年記念事業について」〔サポートデスク〕始めよう！「自分らしい生き方」さがし　函館市地域交流まちづくりセンター遠藤洋一〔シーニック〕〔オタジィラ〕〔つぶやき〕

はこまち通信　第８号

2009 年 3 月発行

〔プレイバック〕特別編「まちセンを坂側から見ればの巻」〔特集・はこまち対談〕「まちづくり支援センターの役割」NPO 法人日本 NPO センター企画主任・新田英理子〔開明都市〕遺愛学院「旧遺愛女学校」本館・旧宣教師館／北海道志海苔中世遺構出土銭／大谷派本願寺『東本願寺』函館別院〔函館のＮＰＯ〕１７の会／はこだての音の視覚化研究会／函館生涯学習インストラクターの会／函館善意通訳会／函館ルネサンスの会／ NPO 法人セラピア障がい者自立支援センター「開港 150 周年記念事業について」〔サポートデスク〕定年後の「生き甲斐」について・佐久間正昭〔シーニック〕〔オタジィラ〕〔つぶやき〕

2009（平成 21）年度

はこまち通信　第９号

2009 年 6 月発行

まちセンサロン「市民からの提言」～函館の路面電車～〔特集　はこまち対談〕「アートとまちづくり」大下智一さん〔シーニック〕〔新連載・あなたの老後を自分で守れますか〕中尾仁彦〔函館のＮＰＯ〕旭岡体験塾／函館観光ボランティア愛／自立の風かんばす／ストロー

クの会／総合型地域スポーツクラブ「BayWalk Community はこだて」／ NPO 法人北海道魚道研究会「開港 150 周年記念事業について」〔サポートデスク〕「退職・移住・音楽、そして函館の街！」曽山哲夫〔オタジィラ〕〔つぶやき〕

はこまち通信　第 10 号

2009 年 9 月発行

第 5 回 NPO まつり〔特集　はこまち対談〕「映画とまちづくり」西堀滋樹さん〔あなたの老後〕その 2〔函館のＮＰＯ〕NPO 法人シンクタンクグループ函館スローマリン／ NPO 法人ナルク函館・はまなす／道南ジェンダー研究ネットワーク／ NPO 法人 NorthRanch ／大沼ふるさとの森自然学校／グリーンパンダ〔「NPO」ワンポイント・アドバイス〕～助成金を申請する時のコツ～〔サポートデスク〕「函館移住アドバイザーに参加」函館移住アドバイザー・梶井不二夫〔シーニック〕〔オタジィラ〕〔つぶやき〕

はこまち通信　第 11 号

2009 年 12 月発行

函館山の歴史をめぐる〔特集・はこまち対談〕「龍馬とまちづくり」三輪貞治さん「男性よ、第二の人生設計を早く描きましょう」中尾仁彦〔函館のＮＰＯ〕NPO 法人函館市青年サークル協議会／世界に一冊だけ本・展実行委員会／ちんどん屋遊源会社大黒笑事／函館プラネタリウム同好会／函館朗読奉仕会／北海道メンタル評議会〔アドバイス〕～活動の基礎をつくるために～〔サポートデスク〕「出会いで広がる素敵な時間」岸本和子さん（函館絵本の会銀のふね）〔シーニック〕〔オタジィラ〕〔つぶやき〕

はこまち通信　第 12 号

2010 年 3 月発行

函館山の歴史をめぐる〔特集・はこまち対談〕「子どもの遊びに親立ち入り禁止」赤石哲明さん「川のない函館に日本 2 番目の水道敷設（その１）」中尾仁彦〔函館のＮＰＯ〕NPO 法人全国精神障がい者地域生活支援センター／函館すぷれっと／函館日中友好協会／函館和装研究会／函館花いっぱい道づくりの会／北海道アイヌ協会函館支部〔ワンポイント〕事業や活動を伝えるために～〔まちのチカラ〕「素敵な出逢い - アクティブシニアの仲間たち」柴田修平（ムックリ横内とその七味」大番頭〕〔シーニック〕〔新連載・cafeDripDrop〕〔つぶやき〕〔講座案内〕

2010（平成 22）年度

はこまち通信　第 13 号

2010 年 6 月発行

〔特集・はこまち対談〕「まち、若者とともに」染木加奈子さん「川のない函館に日本 2 番目の水道敷設（その２）」〔函館のＮＰＯ〕NPO 法人シーズネット函館支部／手作りボランティア工房エンジョい／函館児童英語研究会／箱館トイカメラ女子写真部／北海道災害救助騎馬隊／歴史を学ぼうかい〔ワンポイント〕もっと良い会議をつくるコツ　その１「七つ道具を活用しよう 前編」〔まちのチカラ〕森田伸子さん（" 美しく心豊かに " さわやかミドルの会）「ようこそ！どんぐり 2 号店」〔Drip Drop〕〔シーニック〕〔つぶやき〕

はこまち通信　第 14 号

2010 年 9 月発行

〔特集・はこまち対談〕「新しい現場、違った視点」苫米地正章さん「箱館奉行所と函館開港（その１）」中尾仁彦〔函館のＮＰＯ〕映画「海炭市叙景」製作実行委員会／松本流こ寿々会／NPO 法人 Z(i)G 在宅支援技術者連絡協議会／朝鮮女性と連帯する函館の会／はあと地域共同作業所／函館壷の会〔ワンポイント〕もっと良い会議をつくるコツ　その２「七つ道具を活用しよう 後編」〔まちのチカラ〕佐藤 綾子さん〔シーニック〕〔どんぐり 2 号店〕〔Drip Drop〕〔つぶやき〕〔利用案内〕〔講座案内〕

はこまち通信　第 15 号

2010 年 12 月発行

市民活動支援セミナー〔特集・はこまち対談〕「商店街とともに、夢をひろげたい」能登正勝さん・島信一朗さん「箱館奉行所と函館開港（その 2）」中尾仁彦〔函館のＮＰＯ〕親子・家族が楽しむ力「ソダツチカラ」／ NPO 法人亀尾年輪の会／ナナカマドの会／函館宝島研究会／ NPO 法人函館フォトアーカイブス／函館フルートオーケストラ〔ワンポイント〕もっと良い会議をつくるコツ　その３「アイデアをだすための１０の心得　前編」〔まちのチカラ〕「夢の実現」佐藤 悦子さん〔シーニック〕〔どんぐり 2 号店〕〔Drip Drop〕〔つぶやき〕〔利用案内〕〔講座案内〕

はこまち通信　第 16 号

2011 年 3 月発行

〔特集〕東日本大震災〔特集・はこまち対談〕「高校生の居場所、やってます！」三森望美さん・貞原夢子さん〔箱館奉行所と函館開港（その 3）〕中尾仁彦〔函館のＮＰＯ〕道南・アイヌ民族との連帯を考える市民の会／ NPO 法人 NATURAS／函館西部地区バル街実行委員会／函館映画鑑賞協会／函館の文学と音楽の会／ NPO 法人リンパ健康学普及協会〔ワンポイント〕もっと良い会議をつくるコツ　その３「アイデアをだすための１０の心得　後編」〔まちのチカラ〕弘田義江さん（北海道メンタル評議会理事長・函館移住アドバイザー）〔シーニック〕〔どんぐり 2 号店〕〔Drip Drop〕〔つぶやき〕〔講座案内〕〔利用案内〕函館山の歴史をめぐる Twitter を中心に　あまり報道されない「愛と勇気」

2011（平成 23）年度

はこまち通信　第 17 号

2011 年 6 月発行

〔特集・はこまち対談〕「工藤市長に聴く　函館のまちづくり」工藤壽樹（函館市長）〔函館奉行所と函館開港（その４）〕中尾仁彦〔函館のＮＰＯ〕大間原発訴訟の会／二十間坂友の会／はばたきの会　道南・女性の自己実現を支援する会／ Community（地域活動）Group ムーミン谷「第七回ＮＰＯまつり」函館・東日本大震災支援ネットワーク「函館・むすびば」〔シーニック〕〔どんぐり 2 号店〕〔Drip Drop〕〔つぶやき〕〔講座案内〕〔利用案内〕

はこまち通信　第 18 号

2011 年 9 月発行

「第 7 回 NPO まつり」〔特集〕釜石レポート・地域包括ケアのまちに向けて〔箱館奉行所と函館開港（その５）〕中尾仁彦〔函館のＮＰＯ〕道南いのちと心を考える市民ネット・あかり／一般社団法人障がい者自立地域支援センターなかよしパル／ hakodate+（ハコダテプラス）／ピンクリボン in 函館 Team PINK!〔ワンポイント〕もっと良い会議をつくるコツ　その５「いち参加者ができること　前編」まなびっとフェス 11 月 27 日開催　受講者募集中！〔シーニック〕〔どんぐり 2 号店〕〔Drip Drop〕〔つぶやき〕〔講座案内〕〔利用案内〕

はこまち通信　第 19 号

2011 年 12 月発行

市民活動スキルアップ講座「新寄付税制＆ NPO 法改正」〔特集・はこまち対談〕「歴史を知り、歴史をつくる」若山直さん〔ブラキストンの業績と函館のスケート史〕中尾仁彦〔函館のＮＰＯ〕NPO 法人小呂野／どうなんガイド倶楽部／ NPO シックハウスを考える会／ポチポチ堂〔ワンポイント〕もっと良い会議をつくるコツ　その６「いち参加者ができること　後編」まなびっとフェス 11 月 27 日開催〔シーニック〕〔どんぐり 2 号店〕〔Drip Drop〕〔つぶやき〕〔講座案内〕〔利用案内〕

はこまち通信　第 20 号

2012 年 3 月発行

はこだて移住暮らし〔特集・はこまち対談〕「地球に恋して、旅人に恋して。」葉上洋子さん〔NHK 函館放送局 80 周年と「ドン」の移り変わり〕中尾仁彦〔函館のＮＰＯ〕函館の NPO 絵と音の会 / 日本ユーラシア協会函館地方支部 / 函館こども劇場 / 函館市ボランティアチーム はこぼー〔シーニック〕〔どんぐり 2 号店〕〔Drip Drop〕〔つぶやき〕〔講座案内〕〔利用案内〕

バックナンバーは、
http://www.hakomachi.net/tushin
でご覧頂けます。
See you next issue!

http://www.hakomachi.com/

函館市地域交流まちづくりセンターは、
ＮＰＯやボランティアなどの活動の場、
市民交流の場、
地域情報の発信の場
としてさまざまな活動にご利用いただけます。

市民活動やＮＰＯについて相談したい方
市民活動やＮＰＯの情報が欲しい方
市民活動やＮＰＯの会報やチラシを作りたい方
打ち合わせ場所がほしい方
研修会や展示会場を探している方
観光情報や地域情報が欲しい方
ご利用をお待ちしております。

開館時間：　午前 9 時～午後 9 時
休 館 日：　年末年始（12/31 ～ 1/3）　＊器材点検のため月 1 回程度臨時休館する場合があります。

フロア	区分	ご利用料金		備考
		単位	金額	
市民交流フロア／ 2F	研修室（A，B）	1 室 1 時間までごとに	500 円	24 人利用可
	フリースペース	1 日につき	10,000 円　＊	約 272 ㎡
市民活動支援フロア／ 3F	会議室（A，B）	1 室 1 時間までごとに	300 円	24 人利用可
	ロッカー（大）	1 個 1 ヶ月につき	400 円	
	ロッカー（小）	1 個 1 ヶ月につき	200 円	
駐車場		2 時間無料、超過 30 分までごとに 100 円 駐車場は、当センター裏側、入り口が南部坂沿いにあります。		

＊入場料のあるもの、物品販売などは別の利用料金となります。おたずねください。

備品貸出　音響セット 500 円～ 10,000 円、プロジェクター 800 円、スクリーン 200 円

印刷機使用料（用紙代別）について

１，　製 版 代　　１枚・・・・１００円
２，　印刷枚数　　１０枚まで・・・・１０円　（以後１０枚毎に１０円加算となります。）
　　※ 例　１２枚は２０円、１３７枚は１４０円、１５４３枚は１，５５０円です。
３，　１の製版代＋２の印刷代が必要です。

注意：印刷用紙は各自でご用意ください。また、小銭のご用意をお願いします。

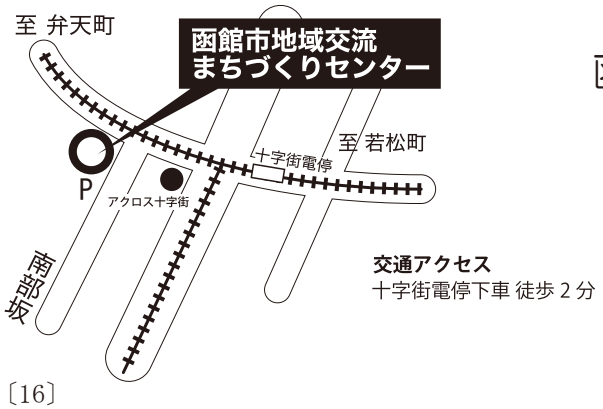
カラーコピー料金（用紙代含む）について

・白黒　　A4，B4，A3・・・・1 枚１０円
・カラー　　A4，B4・・・・・・1 枚５０円　　・A3・・・・1 枚１００円

横断幕プリント / ポスタープリント（用紙代含む）料金について

＊横断幕は文字原稿、ポスターはチラシ又は PDF 形式で原稿をお持ちください。

・長尺 610mm × 1.5m・・・2,400 円 / 枚　　・長尺 610mm × 3m・・・ 2,600 円 / 枚
・長尺 610mm × 4m・・・・2,900 円 / 枚　　・長尺 610mm × 5m・・・ 3,200 円 / 枚
・A2 版（420mm × 594mm）・1,200 円 / 枚　　・A1 版（594mm × 841mm）・・1,400 円 / 枚



函館市地域交流まちづくりセンター
〒040-0053　函館市末広町 4 番 19 号
TEL 0138-22-9700
FAX 0138-22-9800
E-mail toiawase@hakomachi.com
URL　http://hakomachi.com/